

# 報告書

作成者：MORE 企画 白井ゆみ

作成日：2025/3/19

## 1 プロジェクトの概要

タイトル	海と日本☆伊豆半島の海ゴミ一掃プロジェクト@伊東
実施目的	主な目的は、【生態系の保護】【環境保全】【公共の利益の向上】【社会的責任の履行】の4点です。海中のゴミを放置しておくと、そこに住む海洋生物に危害を及ぼし、ひいては海の生態系に悪影響を及ぼします。また、海岸に流れ着いたり水面に浮かんでいたりすることで景観も損ないます。水中清掃を行うことで、海の魅力をさらに高め、生態系を保護し、社会貢献活動として街全体の価値をあげることに繋がります。

## 2.プロジェクトの詳細（敬称略）

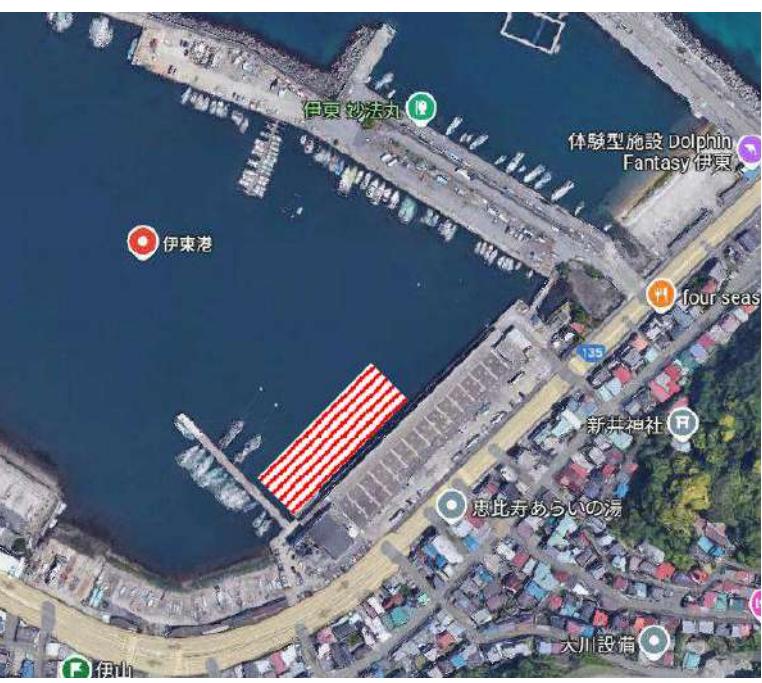
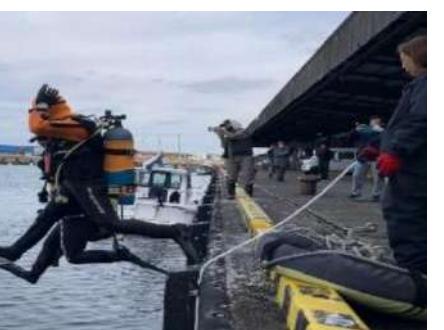
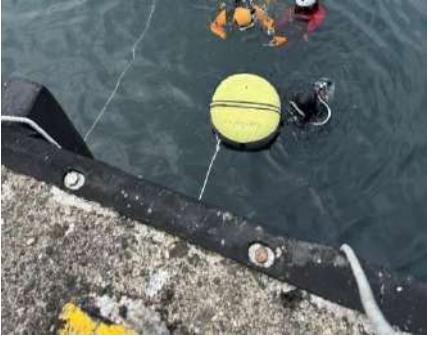
内容	今回、清掃場所となるのは伊東市の伊東漁港。伊東市を代表するこの港では、これまで水中清掃はほぼ実施したことがなかった（他の地区の多くの港と同様）昨年2024年より、熱海土木事務所、いとう漁協、伊東市環境課、伊東市観光課、伊東観光協会、認定NPO法人アンダーウォータースキルアップアカデミーとMORE企画と協議を重ね開催が決定した。
概要	<p>【日時】2025年3月18日（火）9時～13時（下見潜水2月6日（木）3名）</p> <p>【場所】〒414-0043 静岡県伊東市新井1丁目1-18</p> <p>【主催】非営利環境活動団体 MORE企画</p> <p>【水中実行】認定NPO法人アンダーウォータースキルアップアカデミー</p> <p>【協力団体】いとう漁協、伊東ダイビングサービス、伊東市環境課・観光課・観光協会、下田海中水族館、海上保安庁、自衛隊伊東地域事務所（海上自衛隊・陸上自衛隊）、川奈ダイビングサービス、Clean Vibes、Mog、伊東ロータリークラブ、アートウォーター、社会福祉法人クープ等</p>
参加者	<p>【水中班】水中清掃ボランティアダイバー11名、水中撮影ボランティアダイバー2名</p> <p>【陸班】約80名（ロータリークラブからの参加者含む）</p> <p>【見学者】10名以上</p>
ダイバー	リーフレイダース、キープスマイリング、イエローフィン、ダイビングサービスミウ、城ヶ崎潜水、下田ダイバーズ、Our Best Buddy、城ヶ崎インディーズ、Marine Sweeper、熊切杏里 ※全員、潜水士免許所持
メディア	伊豆新聞、東京新聞、テレビ静岡「テレしづ Wasabee」
協賛金	日本財団、大平造船工業、野村商店、MASAAKIs&TOSHIAKIs、まるまるどっぐす、オーベルジュ花季、Mog 合同会社、伊東ひもの振興会、りんがふらんか城ヶ崎文化資料館、株式会社オカムラホーム、株式会社富士一、アートウォーター、いとうビッグバンドジャズフェスティバル
協賛品	ヴェッカー（コーヒー）、ひよし（菓子）、KAORI（菓子）、いっしん（菓子）、Ohnishi（菓子）、MINGLE（菓子）、ゆみうさ（軽食）、山茶花（パン・ランチ）、三浦水産（海鮮土産）、山六水産（干物）、丸達水産（干物）、あらいの湯（入浴券）

保険	あいおいニッセイ同和損害保険（傷害：潜水作業あり、潜水作業無し両方）										
ゴミ回収	いとう漁協、伊東市環境課（担当：伊藤）										
安全管理	<p>(1) 事故発生時には伊東港の「事故発生時の連絡網」に従って対応 海上保安庁：118 消防：119 警察：110 近隣の病院、軽症の場合、重症の場合：伊東港の事故発生時の連絡網に従う</p> <p>(2) 1チーム毎に水面での安全管理ダイバーが水面で国際信号旗A旗を取り付けたフロートカブイを保持して、その下をダイバーが潜るようにする</p> <p>※安全潜水とボランティア依頼に関する覚書・同意書への自署をもらう</p>										
行程	<p>前半 09:00-09:15 いとう漁港 集合（静岡県伊東市新井1丁目1-18） 09:15-09:45 ブリーフィング時間（全体挨拶、参加者紹介、作業内容、安全説明） 09:45-10:00 潜水準備、道具配布、最終準備、休憩所セッティング 10:00-11:00 1本目、随時ゴミを引き上げて行く 11:00-12:00 休憩時間（コーヒーとお菓子、おにぎりなど）人数分ご用意</p> <p>後半 12:00-13:00 2本目、随時ゴミを引き上げて行く、終了後片付け、記念撮影 13:00-13:30 終了の挨拶（MORE企画のボランティアの方々には協賛品のお渡し）</p>										
他・内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容・管轄・依頼先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いとう漁協施設使用</td> <td>駐車場、水道、お手洗い、ごみ一時保管</td> </tr> <tr> <td>テーブル・椅子</td> <td>観光協会（40名分）</td> </tr> <tr> <td>伊東ダイビングサービス</td> <td>監視船、シリンドラー（13名分×2本+2本）</td> </tr> <tr> <td>メディア</td> <td>伊豆新聞、CVA、静岡新聞、静岡放送、東京新聞など</td> </tr> </tbody> </table> <p>※見学可能にする場合は、駐車場係を1名配置 ※漁協周辺のポイ捨てゴミや散乱ゴミ（飛ばされてきたゴミ）を清掃する部隊も設置（3-4名） ※謝礼金は、水中清掃プロダイバー、伊東ダイビングサービスへの施設使用料とシリンドラー代、ポート代のみ支払い</p>	項目	内容・管轄・依頼先	いとう漁協施設使用	駐車場、水道、お手洗い、ごみ一時保管	テーブル・椅子	観光協会（40名分）	伊東ダイビングサービス	監視船、シリンドラー（13名分×2本+2本）	メディア	伊豆新聞、CVA、静岡新聞、静岡放送、東京新聞など
項目	内容・管轄・依頼先										
いとう漁協施設使用	駐車場、水道、お手洗い、ごみ一時保管										
テーブル・椅子	観光協会（40名分）										
伊東ダイビングサービス	監視船、シリンドラー（13名分×2本+2本）										
メディア	伊豆新聞、CVA、静岡新聞、静岡放送、東京新聞など										

### 3.実施実績

量	1.5トン（内伊東市回収60kg、いとう漁協回収1,440kg）ダンベ×2杯
回収物	トロ舟コンテナ（38個）、タラップ、ロープ、ワイヤー、バッテリー、掃除機、缶、瓶、金属片、自転車、パイプ、タイヤ、ホース、台車、漁網、鉄板、タイル、プラスチック破片等
詳細	<p>水深：左端（平均2.4m/最大2.6m）、中央（平均3.6m/最大3.8m） 水温：15.4 °C ※3月の平均水温 透明度：作業前4-5m、作業中50cm以下 ※視界の範囲 海底：ヘドロ、灰（陸で何かを燃やした後の灰が沈殿）、砂 ※廃棄物の投棄、植物の残骸、ごみ、鳥や動物の粪などが水底で堆積し、空気に十分に触れることができずに腐敗すると「貧酸素化」してヘドロになる。</p>

#### 4.実施の様子と内容

準備	<p>07:00-09:00 スタッフ集合、準備（フロート設置、糞掃除、ゴミ拾い、ブースセッティング）</p>  
集合	<p>09:00-09:15 参加者全員集合 09:15-09:45 挨拶・説明・同意書サイン</p>  
入水	<p>09:45-10:00 最終準備（水中班ブリーフィング、陸班チーム分け） 10:00-10:05 エントリー 岸壁からチームごとジャイアントでエントリー（3チーム分け） 赤枠のエリアをメインに、市場を背にして幅100mほどの範囲を清掃。</p>   

1 本目	<p>10:05-10:45 (11:00 完全エキジット)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの目印 (1 kg ウエイト&amp;ペットボトル、クランプ&amp;ペットボトルを事前に設置)</li> <li>ロープを陸から垂らして、ゴミに結び付けてもらいひっぱりあげる</li> </ul>    
休憩	<p>11:00-12:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一本目終了後、1 時間の水面休憩</li> <li>共産品のおやつビュッフェ (なるべくゴミゼロを目指しました)</li> </ul> <p>※参加者へは、事前に水筒の持参もお願いしておいた。また、見学者からの差し入れに関しても、スーパーで買った物やペットボトルの飲み物などは、ご遠慮いただくよう事前に告知した。</p>      

<p>追加 参加者</p>	<p>11:30-11:45 伊東ロータリークラブの皆様が到着。定例ミーティングを兼ねて、漁協施設周辺のゴミ拾いを実施。次会長とロータリークラブのご厚意でパンのランチBOXを協賛していただく。</p>  
<p>2本目</p>	<p>12:00-12:45 1本目と同様。 ダンベがいっぱいになるまで引き上げ続けた。</p>         

終了

12:45-14:00

片付け、集合写真、協賛品のお渡し、解散



その他

- ・水中ダイバーは、3名1組（水面1名、水中1名）で清掃作業
- ・水面に海上保安庁の1名が待機し、水中と陸の間をサポート
- ・陸は、5-6名1組になって各ダイバーチームの上部に待機して水中班に合わせて作業
- ・ロータリークラブは定例会後、漁協敷地内のゴミ拾いを実施（45Lゴミ袋6袋分回収）
- ・漁協の落とし物（トロ舟）が38個見つかったが、ダンベの中には入れず重ねて横に置く
- ・一般廃棄物は伊東市環境課が引き取り、産業廃棄物はいとう漁協の資金で処分
- ・ダンベやトロ舟は、漁協がフォークリフトを使い運搬
- ・共産品の配布は、iPadでルーレットを回してもらい3社の協賛品の中からお渡し

## 5. 収支 ※下記金額は、すべて MORE 企画の負担とする。

収入：169,000 円、支出：524,290 円、収支合計：▲355,290 円

	内容	金額	備考
収入	協賛金	69,000 円	協賛店・協賛企業・個人
	伊東市 SDGs 補助金	100,000 円	2 団体合同申請
	合計	169,000 円	
支出	下見費用	50,000 円	交通費・シリンドー・謝礼
	謝礼金 (20,000 × 12)	240,000 円	水中ボランティアダイバー
	監視船費用	20,000 円	協賛価格
	シリンドー代	28,600 円	協賛価格 (20 本)
	スタッフ経費	50,000 円	交通費・打ち合わせ・その他
	器材購入費	135,690 円	
	合計	524,290 円	

※謝礼金に委託先への交通費も含む（謝礼金受け渡し時には受領確認が必須）

## 6. その他

各種申請・許可・人員	2024/12/24 : いとう漁協にて関係者顔合わせ＆日程調整 (MORE 企画、いとう漁協、アンダーウォータースキルアップアカデミー、伊東ダイビングサービス、伊東市環境課、伊東市観光課、伊東観光協会) 海上保安庁：下見＆本番の日程と範囲の共有 熱海土木事務所：一時使用許可書提出 下見：2025/2/6 (白井、大石、苅部)
メディア掲載	2025/3/19 (水) 伊豆新聞一面掲載  <p>自転車など海底ごみ1.5トン 環境団体 清掃 市場前 プロダイバーら80人</p>